

# 分枝だより

## 11月号

地域と共に歩む  
大曲農業高等学校太田分校  
(TEL) 0187(88)1311  
(FAX) 0187(86)9035

●収穫を終えた太田分校の農場にも霜が降り、水たまりに薄氷が張るのを見かけるようになりました。また、大台スキー場が白く雪化粧する日もあり、いよいよ本格的な冬が直ぐそこまで近づいてきたと感じます。今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、各校で様々な行事を中止や延期にせざるを得ない状況が未だに続いています。太田分校でも生徒達の安全面を考慮し、検討を重ねた結果、修学旅行を中止と致しました。それでも、少人数の特色を生かし、例年行われている各行事を可能な限り実施できるように努力してきました。その甲斐あってか、紅葉祭や全校民謡発表会を工夫を凝らして実施できたことは、地域の方々や保護者の皆様の応援やご理解があったからだと思います。感謝いたします。



### 収穫祭 大地の恵みに感謝して

●10月31日(土)、収穫祭が行われました。例年は式典が行われた後に、全校生徒と職員、そして保護者の方々に招待し、分校産のあきたこまちの新米と、ネギや里芋などをふんだんに使った汁物が振る舞われていました。今年も感染症対策で教室で新米をいただきました。

### 農場主任 高田先生のお話 収穫祭と農耕の神様

●9月26日(土)、学校の稲刈りが行われました。約二時間ほどで無事に終わっております。今年のお米の味は、食味については、昨年以上のおいしさではないかと感じております。皆さんが頑張って雑草を取ってくれたおかげだと思います。この後の新米の試食が楽しみです。

さて、昔から農村に伝わる秋まつりを収穫祭と呼んでいます。稲刈りが終わる頃に、その年の米が無事に収穫されたことを神々に感謝し、翌年の五穀豊穡を願う、村を挙げての伝統的な行事でした。また、大きな病や怪我をすることもなく、無事収穫を終えることができたことへの感謝もあつたと思います。

地方によって異なりますが、大別して本格的な収穫の少し前に稲穂を神に供えるやり方と、収穫が終わった後で行われる祭りと二種類があるようです。しかし、最近の傾向では農家が収穫を神様へ感謝するという信仰の形よりも、生産物を販売したり、コミュニティの親睦を目的として開催されるものが多くなっているようです。

このように、古くから日本の農村には「農耕の神様」を祭る風習がありました。「田の神」や「農神(のうがみ)」、「作神(さくがみ)」、「地の神」など、その呼び名は異なりますが、その発生源は同一のようです。

「田の神」といえば、神様が招き寄せられて「家山子」に乗り移る「よりしろ」として伝えられています。農作物を見守るといふことは、農耕社会の構造からすると、生計の手段を守る役割を与えられた、間接的には共同体の保護者であったと言えます。

「こちそうやおいしいお酒を「田の神」に供え、村の仲間と一緒にこれを頂くことで、来年の農作業への決意や、近隣農家とコミュニケーションを取り、団結力の強化にも有効だっただけではないでしょうか。」

今日は、皆さんの団結力の結晶である、あきたこまちの特別栽培米をいただくことで、収穫を感謝する心と、太田分校の生徒・職員のさらなる団結力を深める機会となればと思います。



### 農業委員長 藤原大地君(3年)

●秋が深まりに深まりを見せはじめ、田んぼからは稲穂もすっかり見えなくなり、朝夕の肌寒さも一層感じられる今日この頃です。

さて、今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な学校行事が規模縮小、または延期になるなど、私たちの学校生活にも大きな影響がありました。心配された全校田植え競技会、そして稲刈りの方も無事に終わり、今年も収穫の喜びと自然の感謝の思いを全校生徒・職員で分かちあう収穫祭が無事におとすれました。

大曲太田分校の自然農の実践活動は、無農薬にこだわり、自然な環境で育っていく作物の姿に多くのことを学ぶことができず。また、全校生徒で実施した除草作業を体験したことで、無農薬栽培の難しさや作物自体の生きる力を発見する良い機会となりました。そのような作物の育つ大地は、我々人間にも生きるエネルギーを与えてくれたことが少し分かるようになりました。多くの仲間達と畑作業をし、収穫し、それらを共にいただくことで、普段見せる事のなかった心の内も開かれ、人の輪が自然に生まれ、協力し合うようになりました。

このような自然農の実践生活の喜びを与えてくれた大地に感謝し、みんなと収穫の喜びを共にする収穫祭をここに開催します。

「大地の恵みに感謝して今日はお昼に、田植え競技会で植えた新米を頂きます。また農場には収穫中のネギや白菜、大根などの野菜がありますが、一つの区切りとして、収穫祭を全校生徒で楽しみたいと思います。」



### 秋田県高等学校郷土芸能・日本音楽合同発表会

●11月14日(土)、秋田ふるさと村で行われた「秋田県高等学校郷土芸能・日本音楽合同発表会」に郷土芸能部が出場しました。この大会で優勝すると、来年の全国大会への出場が決まる大切な大会でした。今年も新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、発表の様子を各校指定の時間にビデオ撮影したものを審査員が評価するというやり方でした。観客は関係者のみという状況の中、毎日遅くまで練習を積み、発表会に向けて頑張ってきた練習の成果を全て出し切ったようです。結果はまだ発表されておりませんが、素晴らしい発表だったことと、郷土芸能部の皆さん、お疲れ様でした。



### その他10・11月の行事

#### 太田分校「秋の農産物販売会」マックスバリュ(広面店)

●10月24日(土)・25日(日)の二日間、秋田市のマックスバリュ広面店において、GLクラブの生徒達が、太田分校「秋の農産物販売会」を実施してきました。販売の二日ほど前から、放課後遅くまで部員を中心に収穫調整を頑張っていました。販売する農産物は、白菜、大根、ネギなど、この秋に収穫した野菜と生徒たちが丹精込めて作った「あきたこまち」特別栽培米です。

農産物を陳列し始めると、買い物客が次第に集まり、販売開始前から行列が出来るほどでした。24日は約二時間ほど、25日は約一時間で完売しました。値段もさることながら、無農薬栽培で新鮮なのが好評だったようです。お疲れ様でした。



#### 分枝レストラン

●10月27日(火)は今年度三回目の分枝レストランでした。今シーズンは感染防止対策でお弁当の形式で提供しております。これまでも大変人気を博していたようで、なかなか予約が取れなかったというお話を聞いていました。ありがたいことです。今回は太田分校産特別栽培米が提供されるとあって、これまでに以上に好評だったようです。



### シエイクアウト訓練

●11月5日(木)、シエイクアウト訓練が行われました。大きな地震が発生した際、瞬時に自分の命を守る行動が大切です。突然、地震が発生すれば、とっさの判断ができるとは限りません。このような体験をしておくことで、地震が発生した時には、自分の命を守る行動を忘れないようにしたいと思います。



### 第二回交通安全講習会

●11月6日(金)、交通安全講習会が行われました。始めに体育館で、無灯火による夜間の自転車事故が急増していることへの注意喚起、交通事故の状況や危険の予測、判断の誤り等、自動車運転免許を取得する前の心構えを学びました。さらに実用化が進む「ASV(先進安全自動車)」の現状についても教えていただきました。その後、シートベルト体験車で自動車衝突体験をしました。たつた5キロでの衝突体験でしたが、生徒達は想像以上すごい衝撃が驚いていました。講習会では毎回体験していますが、改めてシートベルトをしないと危険だということがよくわかりました。とても貴重な体験となりました。



### 生徒会役員選挙行われる

●11月25日(水)、生徒会新役員選挙が行われました。結果は以下の通りです。

会長	細川柚衣(2年)
副会長	高良 然(2年)
書記	草野和真(1年)
会計	高橋 柊(2年)
総務	津嶋杏輔(1年)
書	吉村彩名(2年)
副書記	高橋 誠(1年)
副総務	小山陽心(1年)
副会計	浅利大遥(2年)
副書記	藤井夢来(2年)
副総務	小柳里桜(1年)

立候補者全員が信任されました。

●(新生徒会長 細川柚衣さん)

●約一年間、生徒会副会長を経験し、生徒会の大変さを知りました。もう一年、学校のため、私たちが生徒のために活動したいと思えます。新しい生徒会メンバーと協力して、生徒が楽しめる企画や挨拶運動などを頑張りたいです。



●その他、「ふるさと企業紹介」(10月7日)、「性教育講座」(10月16日)も行われました。





